

11月3日私学の学費問題の世論を興す 私学助成全国署名運動の中間決起の日!!! 愛知で「BIGフェスティバル」、神奈川で「私学のつどい」を開催

11月3日文化の日。各地で憲法集会が開催されていることと並行し、愛知、神奈川で、憲法に基づいて私学の学費無償化を訴える「BIGフェスティバル」「私学のつどい」が開催されました。コロナ禍の中でも最後まで開催にこだわり、開催に向けて行政からの応援もある企画となりました。

「コロナに負けない」のタペストリーを背景に 知事が登壇 愛知BIGフェスティバル

入場受付では、健康チェック表・参加同意書を記入してもらい、通過の際非接触型検温器で参加者全員の体温をチェックする体制をとっての開催でした。例年10000人規模で開催されてきた愛知のBIGフェスティバルですが、前出のように今年のコロナ禍への対策を厳重にしつつ、5000人規模で開催しました。



30人の生徒会代表が 並ぶ「合同文化祭」として

右にあるように、30校の生徒会代表がメインステージに並び、コロナ禍による一斉休校、オンライン授業、行事の中止等の中で再確認した「学校生活」の意味が訴えられ、このBIGフェスが「合同文化祭」であることが宣言されました。

年収720万円未満実質学費無償 が変えたものを訴える

国の制度拡充を土台に県独自補助の上乗せにより、愛知では年収720万円未満世帯まで、入学金を含め学費がほぼ無償になりました。そのことで「私学を選択することができた」「親が私学を選択することを許してくれた」「高校進学を家族で喜べた」といった新入生の思いを大村知事へ訴えました。



<群舞写真は、大村ひであき知事 Facebook より引用>

45分に亘る「希望プロジェクト」を最初から最後まで観覧した大村知事は、「希望プロジェクト」終了後、舞台であいさつしました。「コロナ禍という厳しい状況の中でつらかったと思いますが、こうして躍動する姿を見せてくれて感謝しています(大意)」と高校生の活躍を評価してくださいました。

※ ステージの背景に注目!! 全私学へ呼びかけ寄せられた、クラス、部活、委員会などの団体が撮った「コロナに負けない」のメッセージ写真のタペストリーです。

その学費に対する思い、学校生活への思い、を形にした群舞を500人の群舞隊で知事に披露しました。



写真は、大村ひであき知事 Facebook より引用

6校7団体が「私学での学び」の良さを発信 県独自制度の更なる拡充を県民に訴える 神奈川：私学のつどい

同じく11月3日の午後からは、休日でも多くの人が行き交う、神奈川県横浜市の「みなとみらい地区」の入り口で、神奈川私学のつどいが開催されました。

浅野高校、旭丘高校、神奈川学園、桐蔭学園、法政大学第二中高、緑ヶ丘女子高校の6学園から7団体が参加し、神奈川私学で学ぶ高校生の澁刺とした姿を発信し「誰もが私学で学べる制度を」と訴えました。コロナ禍で発表の場が減少していた高校生が、日頃の成果を発信しました。

